

我が国の省庁等、政府系機関からは日々多種多様な情報が発信されます。(株)現代文化研究所はその中から広くモビリティに関する注目情報を所定期間にわたりピックアップ、テーマを設定した上で、その切り口から関連情報を整理し、お伝えします。

コロナ禍での交通事故発生状況-2021年4月

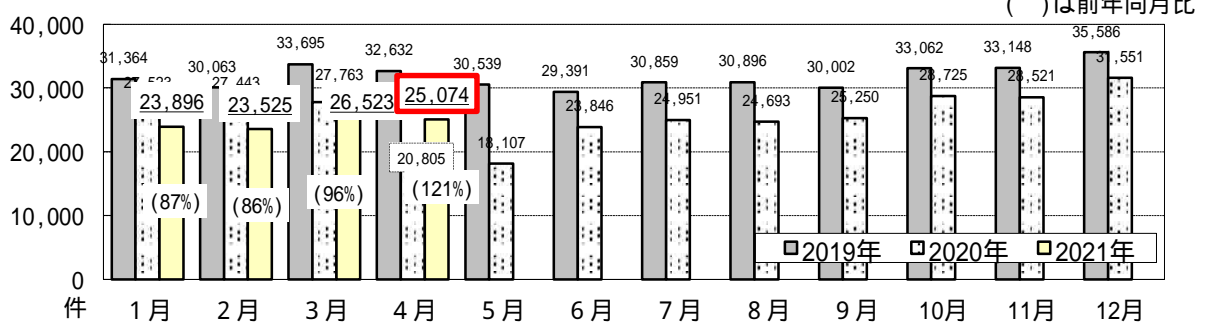
<概要>

- ・交通事故発生件数は、今年になっても前年同様、減少傾向であったが、4月は一転して昨年同月よりも増加し、前年比21%増となった。(図表1)
- ・交通事故死者数は、1～4月いずれの月も前年を下回っているが、月を追うごとに前年同月比は大きくなり、昨年との差は縮小している。
- ・4月6日から15日まで、春の全国交通安全運動が実施された。同期間での交通事故発生件数は前年よりも増加したが、交通事故死者数は減少した。

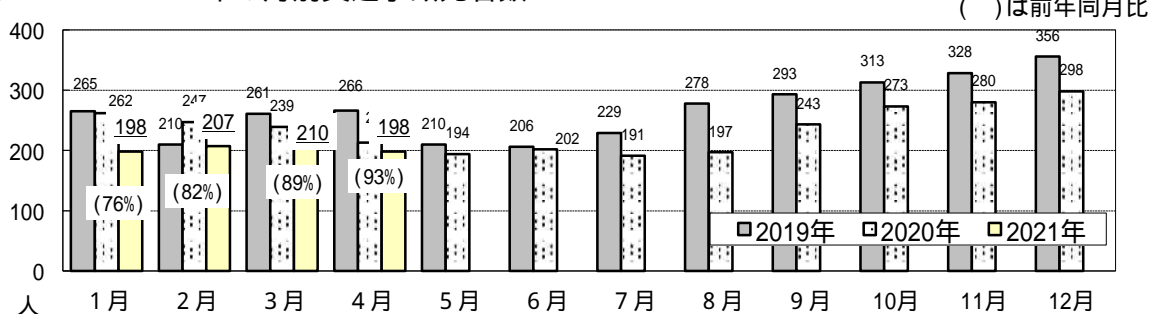
<当社の視点>

緊急事態宣言が日常化してしまい、外出についての抵抗感が幾分低下した感もある。外出率が高まれば、交通事故という偶然を引き起こす懸念も増してしまうだろう。外出率が低下し、その分『偶発性』も低くなっているはずの今だからこそ、それでも事故になってしまったドライバー、歩行者の「不注意」に対するつぶさな検証も重要になってくる。

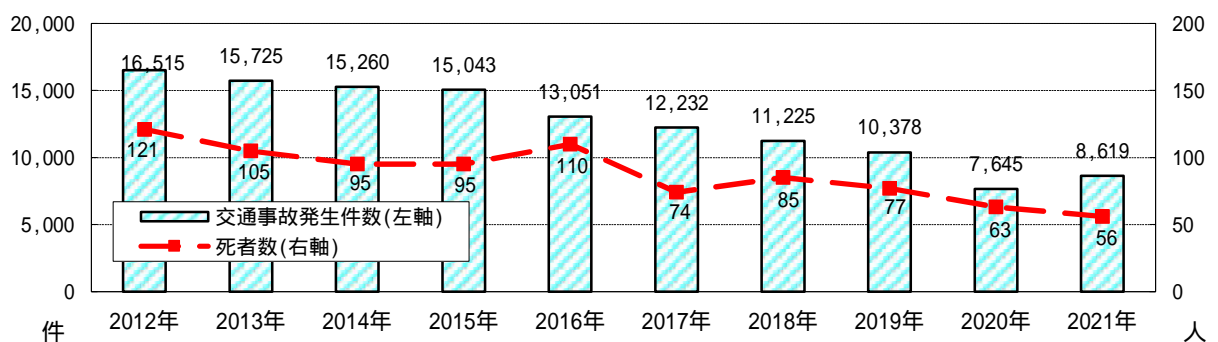
図表1. 2019～2021年の月別交通事故発生件数



図表2. 2019～2021年の月別交通事故死者数



図表3. 最近10年間の春の全国交通安全運動実施期間中の交通事故発生件数と死者数の推移



2011年、2015年及び2019年の春の全国交通安全運動実施期間は5月11～20日。他は4月6～15日。

出典：警察庁「交通事故統計」

お問合せ：(株)現代文化研究所 市場戦略情報第一領域(担当 原田) senryaku1-m@gendai.co.jp